

次世代産業誘致ガイド

TOMAKOMAI



TOMAKOMAI HOKKAIDO

のびゆく苫小牧！
選ばれるまち苫小牧へ！



北海道随一の 好アクセス。

苫小牧から

Rapidus(株) 20分 🚗

札幌 45分 🚆

東京 90分 ✈️

「陸から海から空から」多様な
対応がここから広がります。

苫小牧市はフェリーやRORO船、内
外航コンテナ船が就航する苫小牧港、
国際線ターミナルを備えた新千歳空
港、道内主要都市を結ぶ鉄道や都市間
高速バスなど交通アクセスが充実して
います。

札幌市をはじめ全道各地への輸送にも
最適な環境で優れた交通アクセスが
企業活動をバックアップします。

Rapidus(株)は、日本政府と民間企業の支援を受け、現在、北海道千歳市に2ナノメートル (nm) プロセスの次世代半導体工場を建設中です。2025年4月には試作生産を開始し、2027年の商業生産開始を目指しています。Rapidus(株)の次世代半導体工場「IIM-1」は、2023年9月より工場建設に着手となりましたが、2025年4月の試作生産に向けて、当初の予定に遅れることなく急ピッチで建設を進めています。2024年11月に石破政権は2030年までに半導体及びAI産業を支援するため総額10兆円以上の投資計画を発表しました。Rapidus(株)は2027年には量産への移行も予定されており、日本の半導体産業の希望となることが期待されています。

凡例

— JR 線 路
— 高速道路
— 苫小牧市境界線
— 半径 (km)

ウトナイ商工業団地



明野北工業団地



入船団地



一本松団地



食品・飼料団地



勇払団地



臨空・臨海地域



苫小牧東部地域

臨海地域

苫小牧港東港区

苫小牧西部工業基地

苫小牧港西港区

苫小牧国際
コンテナターミナル

苫小牧東港
周文ふ頭
フェリーターミナル

新千歳空港IC

道央
自動車道

新千歳空港

国道
36号

JR 苫小牧駅

国道
234号

JR 遠浅駅

JR 植苗駅

沼ノ端西IC

沼ノ端東IC

臨空地域

苫小牧中央IC

日高
自動車道

厚真IC

国道
235号

JR 浜厚真駅

JR 錦岡駅

JR 室蘭本線

道央
自動車道

苫小牧
西IC

苫小牧
中央IC

JR 苫小牧駅

JR 苫小牧
貨物駅

苫小牧
市役所

苫小牧
西港フェリー
ターミナル

JR 勇払駅

至 えりも

01 苫小牧データ

Tomakomai data

産業拠点都市とまこまい

苫小牧市は、国際拠点港湾の「苫小牧港」と北海道の空の玄関口「新千歳空港」のダブルポートを有する陸海空の優れた交通アクセスをいかし、紙・パルプや自動車部品を中心に「製造業の盛んな産業拠点都市」として発展してきました。

面積 **561.58**平方km

東西 39.9Km 南北 23.6Km

総人口 **165,410**人

世帯数 **91,337**

令和7年1月末現在



北海道の物流・経済を支える交通の要衝

海

北日本最大の国際拠点港湾

苫小牧港

■取扱貨物量

年間取扱量 **全国3位** (R5)

国内向け取扱量 **全国1位**

■内航船定期航路

計**21**航路

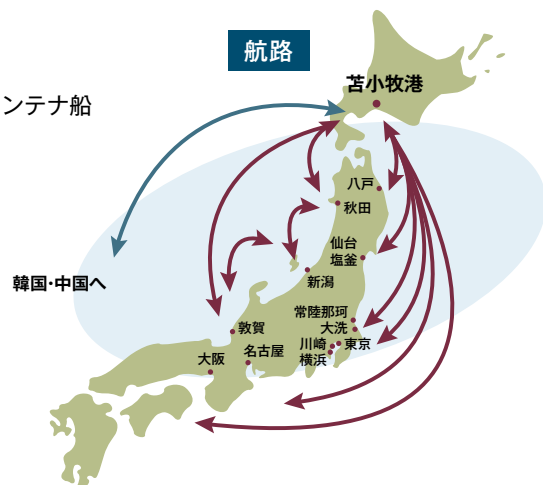
107便/週

フェリー・RORO船・コンテナ船

■外航船定期航路

計**6**航路

7便/週



陸

道内主要都市への容易なアクセス

高速道路・鉄道

札幌まで車で**約60分**

市内の高速IC **6か所**

市内中心部に新たに

苫小牧中央IC開設

(2020年12月13日)

空

全国・世界に広がる空のアクセス

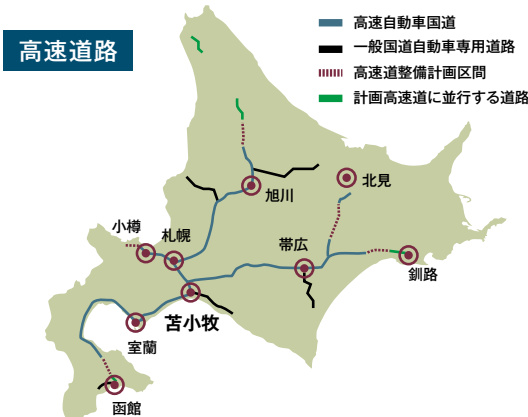
新千歳空港

苫小牧から車で**約30分**

全国主要都市(道外)の空港と直結

新千歳一羽田間

所要時間 **90分程度**



02 インフラ

Infrastructure

企業を支える安定した産業インフラを完備

上下水道

一般家庭用又は口径20mm 1か月分の上下水道料金 令和6年9月1日現在/税込

苫小牧 **4,967円**

札幌/5,049円
千歳/5,037円

江別/5,940円
旭川/6,773円

各市ホームページより
苫小牧市独自調査

工業用水

苫小牧地区工業用水道料

基本料金 **20.0円/㎡**

特定料金/25.0円/㎡
超過料金/30.0円/㎡

責任水量制における1か月の工業用水料金算出式(円・税別)
1日の基本使用水量(㎡/日)×期間日数(日)×基本料金単価(円/㎡)+メーター使用料(円)
※上記料金は令和7年3月1日現在。以降の工業用水道料金の確認は「北海道企業局苫小牧地区工業用水道管理事務局」(0144-55-2788)に直接お問い合わせください。

電気

北海道内の電力需要の約半分をまかなう苫東厚真発電所。海外から輸入される石炭(海外炭)を燃料とする火力発電所として、道内の重要な基幹電源としての役割を担っており、安定した供給が行われます。

ガス

国内最大級の勇払油ガス田のバイプラインが通り、バルブステーションが設置されているため安定した供給が行われます。

TOPIC 苫小牧トピックス

世界に誇る

苫小牧の水道水
モンドセレクション
連続金賞受賞



03 人材・労働力

Human resources / Labor force

北海道は技術系教育機関が多く、理工系人材の採用環境は良好

苫小牧地域の有効求人倍率(2024年7月)

1.12人

出典:北海道労働局ホームページ・
安定所別月間有効求人倍率(常用)の推移より

TOPIC 苫小牧トピックス

令和6年度から、苫小牧高専を含む道内4高専が共同により、半導体人材を育成する新科目を設置するなど、人材育成に取り組んでいます。

苫小牧が
通勤圏の人口は
およそ
250万人

江別市(令和7年1月末現在)

117,934人
59,793世帯

北広島市(令和7年1月末現在)

56,423人
28,366世帯

恵庭市(令和7年1月末現在)

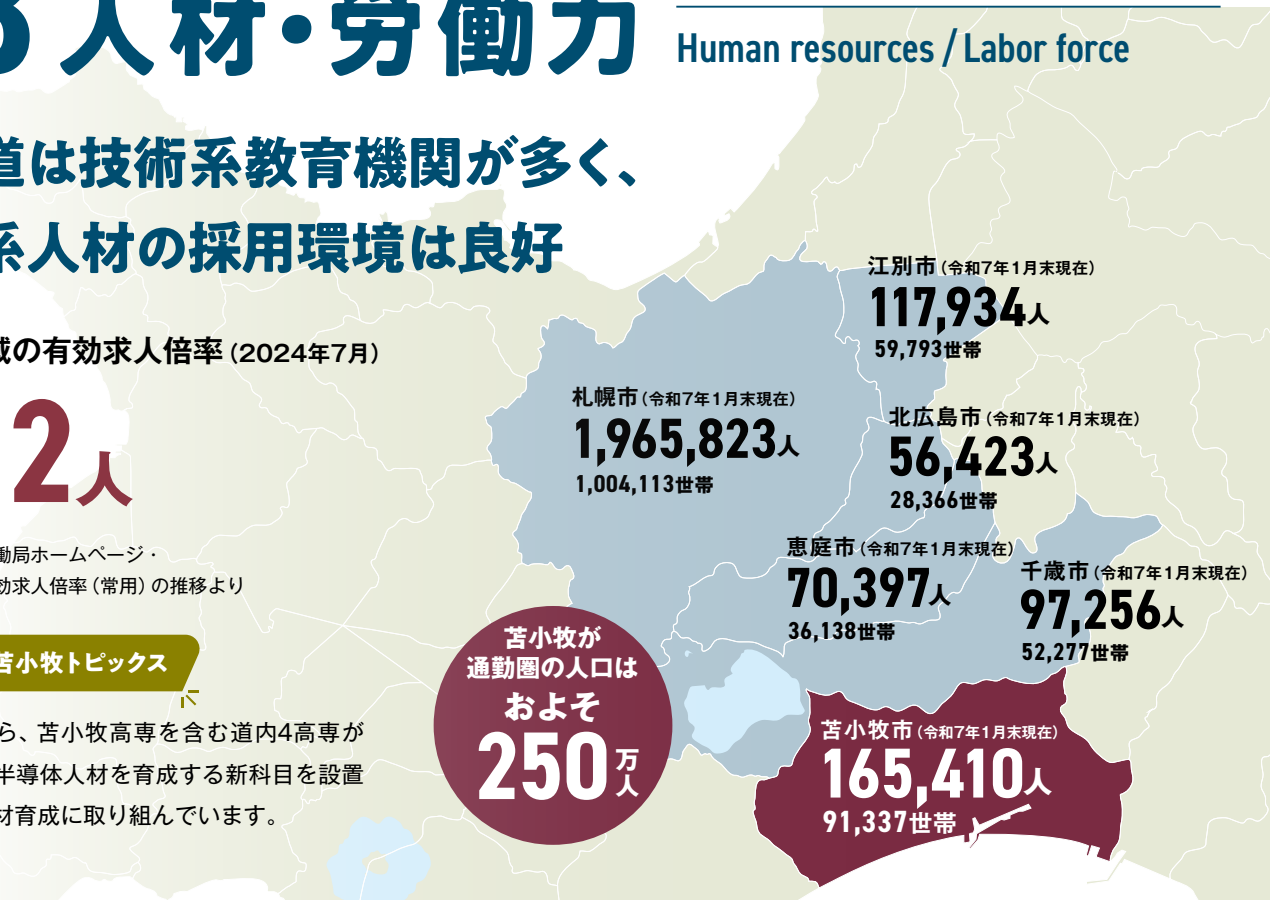
70,397人
36,138世帯

千歳市(令和7年1月末現在)

97,256人
52,277世帯

苫小牧市(令和7年1月末現在)

165,410人
91,337世帯



04 住環境

Living environment

豊かな自然環境と快適な都市機能が融合したまち

自然に囲まれている楽しめるスポット



ウトナイ湖

270種以上の鳥類が確認される多様な動植物の生態系が保たれているラムサール条約の登録湿地です。



樽前ガロー オートリゾートアルテン 錦大沼公園

樽前山麓の林間にあり、切り立った岩肌を新緑色のコケが彩ります。



樽前山

世界的に珍しい三重式活火山。山頂からは羊蹄山や苫小牧市内を一望できます。



ノーザンホースパーク

“馬と大地と、人との絆”をテーマに、1989年に誕生した、自然公園です。



ゴルフ場

苫小牧は多くのゴルフ場が集まる、通称ゴルフ銀座。全国各地のプレーヤーが苫小牧に集まります。初心者に優しいコースからプロ用の難所まで、数多くのラインナップをご用意しております。

安全・安心に暮らせる生活環境

日々の生活に欠かせないスーパーや商業施設、文化の香り高く、潤いのある生活を実現するための文化施設、さらに安心の医療体制を構築している苫小牧市立病院をはじめとした180を超える医療機関と、充実の生活環境が整います。

苫小牧市の医療機関

180以上

苫小牧市立病院、苫小牧日翔病院、王子総合病院、勤医協苫小牧病院など

苫小牧市の公園数

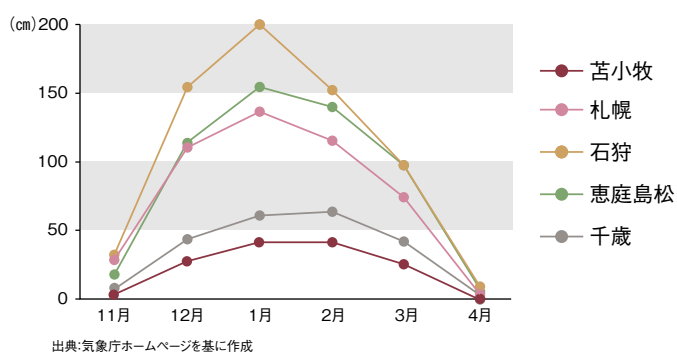
300以上

出光カルチャーパーク（市民文化公園）、北星公園、緑ヶ丘公園、清川公園、あけの公園、新生公園など

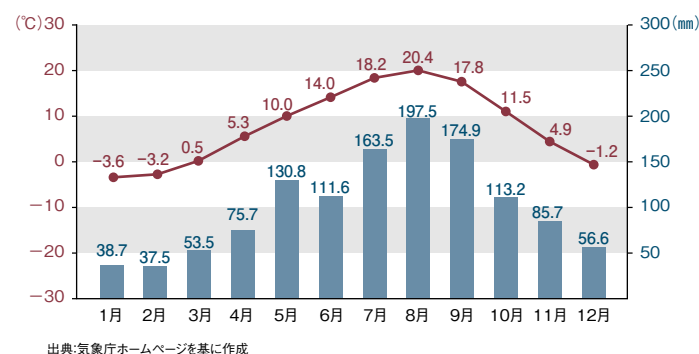
冷涼で安定的な気候

夏は平均気温20度前後と冷涼、冬は晴れの日が多く、北海道でも比較的降雪量が少ない気候です。

■ 降雪量（1991年～2020年）



■ 平均気温と降水量（1991年～2020年）



05 教育・子育て

Education / Parenting

子どもたちがすこやかに成長できるまち

大学、短期大学、専門学校が市内、近郊に点在する環境です。最近では、ニュータウンの造成にともない、2019年に新しく中学校が開校。そのほか、子育て支援や保育サービスの提供も充実しています。

■ 苫小牧市の各教育施設の数

42	保育所 認定こども園 小規模保育施設	15	中学校
7	児童センター	7	高校
23	小学校	5	大学 専修学校 高等専門学



子育て世代に手厚いまちの実現

子育て世代の経済的負担軽減を図るため、令和6年8月から、子どもの医療費助成制度を拡充しました。所得制度を撤廃し、18歳の年度末までの子どもに対し、入院及び通院の一部助成を行います。また、“子どもと真ん中のまち”を掲げて、新入学児童へのお祝い金（3万円）の支給や1か月検診の助成などの子育て支援策や保育サービスの充実化を推進しています。

TOPIC 苫小牧トピックス

ソフトバンク株とIDCフロンティアが苫小牧に大規模データセンターを建設予定！

次世代社会インフラ構想の要となる大規模な計算基盤を備えたデータセンター「Brain Data Center」と位置付け、高いデータ処理能力を有する最先端の大規模計算基盤を備えており、AI開発およびAI関連事業へ活用が可能。
現在のデジタルインフラの集積地である東京圏・大阪圏を補完・代替する拠点として、全国数か所に分散配置する大規模なデータセンターであるほか、再生可能エネルギーを活用する環境へ配慮したデータセンターとして運用される予定。道内への新たな「デジタル関連産業」の集積や北海道発・苫小牧発のAIサービスの創出による地域の魅力度向上が期待されている。



データセンター完成イメージ図 提供：ソフトバンク株

金澤 俊
苫小牧市長

のびゆく苫小牧！ 選ばれるまち苫小牧へ！

苫小牧市は、北海道の南西部、札幌から南に約60キロに位置する、樽前山のふもと、太平洋を臨む、人口約16.5万人の北海道4番目の都市です。

また、北日本最大の国際拠点港湾「苫小牧港」、北海道の空の玄関口である「新千歳空港」を擁するなど、道外、海外との結節点として重要な役割を担っています。

苫小牧港は平成13年から内貿取扱貨物量全国1位を保持しており、また北海道貨物の半分を取り扱うなど本道経済に欠かせない存在となっています。

さらに、本市は我が国最大の産業用地を有し、平坦で広大な土地、冷涼な気候、豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルや陸海空の優れた交通アクセスなどの優位性を誇っております。

市といたしましても、令和3年8月に「ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言するなど、2050年カーボンニュートラル達成に向け、先進的CCS事業や次世代エネルギー供給拠点の形成、カーボンリサイクルなどの推進に力を入れており、ゼロカーボンシティの実現と産業振興の両立を目指しております。

産業面では製紙、自動車、エネルギーに加え、昨今では食、医療など多種多様な業種業態の集積が進み、加えて近年では次世代半導体工場「Rapidus」の進出を契機とした半導体関連企業や、SoftBankの大規模データセンター「Brain Data Center」の進出など、次世代産業の動きが加速しております。

目まぐるしい経済の動きの中において、本市が有する優位性やポテンシャルは今後のさらなる発展に寄与するものと捉えており、“のびゆくまち”へ大きく期待するところです。

本市といたしましては、この流れを好機と捉え、次世代産業の拠点形成に向け、国・北海道などと連携しながら、企業に“選ばれるまち”となるべく取り組みを進めてまいりますので、当市への立地を検討いただきますようお願い申し上げます。

企業立地にあたりましては、進出前の様々なご相談から進出後のアフターフォローに至るまで、企業ニーズに応じて全面的にサポートさせていただきます。お気軽にご相談ください。

企業立地ガイド



優遇措置



苫小牧市HP

